



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

癒しの休日 5000円コース

2006,1,8



癒しの1日とは、こんな一日なのかもしれない。
 癒しと言うか、身体の内面と外面を磨いた一日であった。
 まず、朝の9時に歯医者へ行く。歯石取り・・・450パーツなり。
 その後、サウナへ・・・申し訳程度に運動し、1時間たっぷりサウナで汗（ビールを？）流す。・・・
 150パーツなり。
 その後、ター・ポー・タイマッサージへ行く。
 ターポーとは、盲目の意味で、通常のマッサージ屋よりも安い。
 しかも、一生懸命マッサージしてくれるので、非常にお気に入り。・・・2時間200パーツ+チップ200パーツの計220パーツ。
 この時点で、夕方・・・田舎に帰ろうかなーと思ったけど、ダムさんも不在だし、帰ってもすることない。
 かといって、何処に行くあても無い。
 それなら、最後の搾り出しを・・・ってことで、スペシャルオイルマッサージ。
 可愛くなかったが、半分妥協して選ぶ。
 最後の1時間のスペシャルは、すべて込みで1000パーツなり。

トータルいくらかわからないが、癒しの日曜日というか、リラクゼーションの1日というか、何と言うか？
 日本円にして、5000円ほど・・・タイは、良いですなー

冬は終わったのか？

2006,1,4



年が明けて仕事がスタートしたと同時に急に慌しい毎日がはじまった。
日本人だけが飛び回っている感じであるが、タイで外国人がいくらあがいても出来ることは、限られている。
日本人を見て、不思議な人たちだ・・・と思うのは、すっかりタイ化してしまったからなのかもしれない。
急げば急ぐほど、ミスが連発したりして逆効果。
もっと言えば、タイ人スタッフを焦らせたなら・急がせたら、良い結果に結びつかないと思っている日本人は、この会社を見る限り、僕だけのようである。

年末の寒波が嘘のように、蒸し暑い夜を迎えている。
水分不足なのか、寝る前に、ハイネケンの大瓶を2本飲んで寝付いても、夜中に一度もトイレに起きる事がないのは、不思議である。
それだけ、汗で発散しているということであろう。
寒くて、明け方起きちゃうよーってという気候から、急に「水浴びが気持ちいい」という気候に戻ったり、季節の変化を感じるタイランドである。

チャン島

2006,1,2 

スニーで年越し後、チャン島へ向った。
正直、チャン島が一番便利なんです。
パタヤからチャン島のホテルまでは6時間といったところかな？（フェリーでの移動も含む）
DOOR TO DOORの魅力が、一番なのかもしれない。
パタヤから車に乗って、フェリーも車ごとで、ホテルまで自家用車で行ける。
これは、楽チンですよ。
飛行機や他の公共交通機関を使うことなく行ける。
重い荷物を持つことなく、車のトランクに荷物を適当に積めて行くわけです。
おまけに、移動代（交通費）と言っても、ガソリン代とフェリー代だけ。
フェリーも、30分ぐらいの距離で一人50バーツに車が100バーツ。
お手軽移動。それでも、一人で運転する場合は、かなりきついかもかもしれないが、交代で運転する場合は、楽チンである。

チャン島では、蛍をみたりシュノーケリングツアーに参加したりして、楽しんだ。
3回目になるのかな？
数を重ねると感動は少ないものの、のんびりと過ごしたって感じ。
初回と違って、ガイドブック片手に、「ここも行きたい。あそこも行きたい」って感じではない。
年配のファランのように、ホテルのプールでのんびり読書をして過ごすような過ごし方に魅力を感じるようになってしまった。
無理に観光に出かけて、余計に疲れるような旅は御免である。

ホテルも使い分けがはっきりしてきて、泊まるだけなら格安ホテル。
丸々1日使えるような状況だったり、ホテルのプールや施設が使いたかったら、ある程度のホテルに・・・という感じ。
そういう意味で言えば、正月休みの前半は、スニーから歩いて3分の安いホテルで、後半のチャン島は、のんびり高級ホテルへ・・・と上手く使い分けた気がします。

スニーで年越し

2006,1,1 

スノーで新年を迎えるのは、何年目になるのだろうか？

去年も、全く同じ店で年を越した気がする。

狭い路地に派手な花火がぶっ放され、「なんという無法地帯だ。」と思ったはずだが、慣れと言うのは、恐ろしいもので、「恒例」とさえ感じるのだが・・・

年末に、ダムさんは実家に帰省した為、本来ならば、やり放題であるのであろうが、何故か、そんな気にもならず、普通に酒を飲んで過ごす。

日本人の方も、大勢見かけた。

旅の恥は・・・と思っているのは、当のご本人であり、周りは、かなりの数の日本人がいるにも関わらず、日本では絶対に振舞わない行為を行っているのには、参った。

年が明けて、今年はどんな年にしようかなーってちょっと考えた。

今年は、タイでの生活の地固めをする年にしなきゃいけないと思っている。

コンド購入と、ダムさんを日本へ連れて行くのが、さしあたっての大きな出来事であると思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

2月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

研修会

2006,2,9



研修会に参加した。

1泊2日のバンコクである。

普通は、前泊くらい、OKであると思うが、誰もそんな気の効いた考えは浮かばないので、朝の6時に出発ということになり、出発地点まで1時間かかるので、実質的には朝の5時に自宅を出る。

6時に会社の社用車に乗り、7時10分にはバンコクに到着（高速を下りる）

そこから、予想をはるかに超える大渋滞。

1時間足らずで、バンコクに入って来たのに、バンコクに入ってから、1時間で何キロ進んだ事か？本当に頭が痛くなるような話である。

さて、バンコクの渋滞の話は置いておいて、研修会は、二日間で6000パーツと言う金額。1日3000パーツというのは、タイランドの物価からすると高いような気もする。

もちろん、会場は、ホテル・・・タイの研修会に参加したことがある人は、びっくりするが、とにかくコーヒブレイクが充実している。

午前1度、午後1度であるが、休憩時は、どかーんと、お菓子の山となる。

研修会当日、朝ごはんをたっぷり食べ、飲み物ペットボトルを持ち込んだ僕は、後悔することとなる。

10時に、サンドイッチとハンバーガーとコーヒー。

ホテルで出される軽食ですから・・・美味しいのなんのって・・・座って話を聞いているだけだから、ちっともお腹は空いていないが・・・食べる。

久しぶりに、「美味しいハンバーガーを食べた」って実感。

10時にたらふく食べて、満腹。その後、12時に、ランチです・・・っていうのは、理解できるとして、これまたbuffetの食べ放題。

さすがホテルだけあって、寿司まであり、「お腹がいっぱいだから、いらぬ」とは言えない/言いたくない状態。

さすがに、3時は、甘いものが出るだろうから、僕は魅力を感じないはず・・・と書いていたら、久々

に見た「プ・リ・ン」ではないかーーーー。
 久々だから・・・って、1個食べたら、甘さ控えめで美味しいのである。

そんなわけで、研修と言うより、「食べまくりの1日」と言ったほうが正しい1日だった。
 ホテルでの研修会の参加は初であったが、何度か、研修というものに参加したことはあるが、タイの場合、「必ず、お菓子がいっぱい出される」というのは、共通の出来事である思う。
 偶然なのかな？



1ヶ月ぶり

2006.2.7



非常に忙しい日々が続き、とても日記どころの騒ぎではない。
 「こんなに仕事をしてどうなってんの？」って気持ちと、「こんなに高待遇なのだから仕方が無い。」と言う気持ちと入り乱れながらの毎日である。
 そんな生活の中、日曜日と言えば、「癒しの1日」というのが、定番になってしまった。
 フィットネス・サウナ（これは、1セット）で、その後に、タイ古式マッサージである。

タイ古式マッサージと言っても、ヌワット・ター・ポー（盲人マッサージである。
 これ、最高。
 安い（2時間200バーツ）し、チップは自分から催促しない。（もちろん、自分の気持ちは渡すが、相手から催促されたくないのである）
 そして、何より、真面目で上手い。
 デイナイト2の近くにあるコンピューターセンターの近くに位置するのだが、男性1人、女性（ベトナム人1人）の計2人の盲人マッサージ師がいる店だが、これで、3週連続ぐらい通っている。
 土曜に2時間、日曜に2時間という日もある。
 僕は、男性を指名するが、やや小太りの為、手が大きく（男だから？）肉厚（デブだから？）で非常に気持ちよい。

この近辺には、他にもヌワット・ター・ポーがあるのだが、言い方は悪いが、「障害者がやっている」というマッサージの仕方であり、この店の、この兄ちゃんが最高！
 リズム感とか、マッサージのポイントとかが非常に大切だと思うが、「ただ力任せに、グイグイ圧力」をかけ、「強いかな？弱いかな？」と言われても、そういう問題なのかなー？って思ってしまう。
 その店、この兄ちゃんのマッサージのリズム感といい、押すポイントは最高である。
 この兄ちゃんに、すべてを預けるとい言い方がピッタリで、2時間、力を入れずに、大げさに言えば、無重力の状態である。

この兄ちゃん、5000バーツ/月ぐらいで、専属にしたいくらいだけど、考えてみれば、かなりの収入なはず。
 いつも、予約していくのだが、予約しないと、まず、先客がいる。
 2時間のマッサージを5組こなせば、1000バーツ。
 休み無しのようなだから、30000バーツは、お稼ぎのようである。

やっぱり、真面目に働く人間は、偉いし、収入は、後から付いてくるって証拠じゃんと思いつつ、ちょっと尊敬できるお兄ちゃんとの出会い。
 こういう場合、外人って便利。
 電話で予約の際、「日本人だけど、日曜日の時、空いていますか？」でOKなんだからね（笑）そんで、約束の時間に行けば、ちゃんとお客取らずに、僕を待っていてくれますから・・・兄ちゃん、最高！

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

行きたくない

2006,3,31

上機嫌というのは、この事である。
 心が浮かれているのが分かる。
 購入後、早速、コンドの事務所に行き、車の車両通行証をもらう。
 それを、車のフロントガラスに貼り付け完了。
 これで、入り口のガードマンに、免許書を預けて、VISITORカードと交換せずに、堂々と入場できる。
 気のせいかな、コンド名の入ったそのステッカーのセンスが非常に良いような気がする。
 事務所の横の図書室を通ると「ここで、週末は本でも読もう」と思う。
 プールサイドを歩くと、「週末は、このプールでのんびりだよなー。」って思う。
 去年から、ここのコンドの部屋が欲しいと思い続けて来た場所。
 何度も足を運び、何部屋も見歩いてきた。
 念願かなったということである。

はっきり言って、ソクラン休み1週間は日本帰国予定だが、ここで過ごした方が、どんなに快適だろうって思ってしまう。
 日本、日本って、往復の飛行機代だけでも4万パーツ以上の出費。
 ここで(タイで)消費すれば、どんなに有意義な消費ができるかーーーーと思う。
 いつもの悪い癖だが、日本行きの飛行機代(一人分)で実際にスニーで40人以上と遊べる。
 1週間で40人ということは、1日6人と・・・そんな比較をしてもはいけません。
 二人分の航空券・・・80人と遊べるのか?いや、肉体的に無理。
 夏休みだから、スニーは、可愛い子で溢れている・・・・・・

まあ、コンド購入直後、日本へ帰るよりも、この中で過ごしたい。
 生活に便利になる家具等を購入したいって気持ちは強いのである。
 日本行き・・・コンド購入のせいで、あまり気乗りしない。



確かに、自分の名前だ。

2006,3,30



非常に緊張した1日だった。

日本に比べると安いとは思いますが、それでも、今の自分にとっては、すごく大きな買物である。騙されたなんて話しは山ほど聞くし・・・

弁護士自体が怪しいという噂も・・・

時間にすると2時間少々。

9時過ぎに弁護士事務所に行き、本日の打ち合わせ。

打合せと言っても、前もって、書類はすべてFAXしてあり、お金の関係（キャッシャー・チェックとドラフトチェック）の金額を確認。

ちなみに、キャッシャー・チェックは、車を購入した時に、銀行で購入した経験があったが、ドラフト・チェックというものが、未だに分からない。

売主本人に渡したのが、キャッシャー・チェックで、ドラフト・チェックは、抵当権抹消用に渡す為で銀行宛のものである。

土地局の中で、コンドミニアム担当課（アカーン・シュット）の窓口があり、そこで手続きをした。

意外な事だが、土地局の職員がパヤーン（証人）となり、売買契約書が新たに作られたこと。もちろん、それ以前に、契約書はあったのだが、政府のマーク入りの売買契約書がその場で作られた。

買主（プー・スー）の欄にいっぱいサインをした。

その後、銀行の人が呼ばれ、サインをし、抵当権が抹消され、最後に、僕が呼ばれ、権利書の欄の名前の確認をされた。

ご立派な所有権証書の最後に、僕の名前（タイ語）が入っており、妙に嬉しかった。

ちなみに、売買契約書の名前のタイ語にタイプミスがあったが、担当官は「あら、そう。」と言って、手書きで直した。

一番大事な権利書の名前は正しかったので、問題ないと思うが・・・

今回の件で、分かった事、感じたことは、タイ人名義で購入するのは、簡単だが、やはり多少苦勞しても（面倒くさくても）自分名義で良かったと思う。

また、2時間にしては、高いなーと思った弁護士費用だが、事前に、「当日は、弁護士を連れて行きます。」と宣言していたので、何のトラブルもなく済んだ。

外国人である以上、弁護士は、「安心料」として必須と考えた方が良い。

しかも、実は、お世話になった弁護士さんは、会社のトラブルで、3度ほど会ったことがある人だったのも心強かった。

もう一つは、十分過ぎるほどの時間的余裕を持った方が良いということ。

当日は、アツと言う間（2時間程度）の手続きだが、それ以前に、書類を揃えるのが結構大変。大変と言っても、外貨送金の証明、後はチェック関係の購入。

このチェック購入が結構面倒で、MRSなのかMSなのか分からなくて、電話で聞いたり、タイ人の場合、名前を変えることがあるので、どっちが正しい名前かで電話したり、結構大変だった。

毎日、家具はどうゆうのが良いかな？とか、観葉植物でも置くか・・・とか、南国らしく、天井に扇風機が欲しいなーとか、そんな事ばかり考えている。

今月の出費を考えると、頭が痛い。



250%の上昇率

2006,3,25



ビザ事情（外国人滞在事情）が段々と厳しくなっている。

まず、今月15日から不法滞在に対する罰則が200バーツから500バーツに引き上げられた。

いつも思うことだが、上昇率が凄くないか・・・250% UPと言えば、やはり物価上昇率からすると高い。

ビザ代の時もそうだが、選挙権のない外国人に対する値上げは、2倍、3倍当たり前である。

まあ、そもそも、不法滞在というのは、違法行為であるが、今まで心のどこかに、200バーツ払えばそれで終わりという概念があり、少し先に、出国の予定がある場合は、新しくビザを取るより、4-5日程度ならオーバーステイした方が安いから・・・って考え、故意にオーバーステイする人もいるくらいである。

その他にも、何年か前まではそれほどうるさく言われていなかったが、長期滞在の外国人は、90日ごとにイミグレーションに届け出る義務を持っているが、最近うるさい。（厳しい）

1日でも遅れると2000バーツの罰金である。

オーバーステイが1日当りの計算に対して、90日届出は、1日でも遅れるとアウトであり、2000バーツである。

どうも、住み難くなっている気がして仕方ない。

それと同時に、会社員という肩書きでタイに滞在している今の自分が楽をしていることを実感する。（会社の総務課が全部やってくれるから）



コンド購入 6

2006,3,24



コンド名義変更に当り、土地権利書（シャノン・ティー・ディン）以外にも名義変更しなければいけないものがある。

タビアンバーン（居住登録書）、電気、水道、共済費、電話等が当たる。

しかし、ダムさんは、暢気なもんである。

まず、タビアンバーンについては、土地権利書さえしっかり名義変更してあれば、タビアンバーンを無くしたとって再発行してもらえとの事。

電気、水道、共済費、電話の名義なんて、もっと分かりやすい発想。

名義変更をしなければ、元の持ち主の名前で請求書がくるから、我々は知らん顔してれば良い。

「払いたくなければ、自分でさっさと名義変更するだろう。」

なんとも分かりやすい国である。

お金を払わないために費やす労力は、惜しまないタイ人。

見習いましょう。



脳年齢低下

2006,3,23



非常に平和な日々である。

仕事の事よりも、私生活に重点が大きくなりつつある。

忙しかった数ヶ月前を思えば、何と平和な日々か・・・

何だか、あまりに仕事の量が少ないので、「給料泥棒」をしている感じがするが、少し前まで、ハードに働いたのだから、少しは余裕の暮らしをしたい。

しかし、人間と言うのは不思議なもので、ハードな仕事に慣れてしまうと仕事に物足りなさを感じる。と言うか、脳みそをフル回転させていないことが実感として残る。

日本では、脳年齢だとか脳みそ若返りとかが話題らしいが、タイに居ると、脳年齢は、どんどん落ちていく気がしてならない。

「深く考えたくない。」というよりも「考えても仕方がない。」というのが、正解なのかもしれない。

最近、アパートで食事をしていると、大量のハエに囲まれてしまう。

「今日、雨降ったかなー？」とか「雨季が始まったかな？」とはふと思うが、現状を打開する方法を考えるわけでもない。

去年は、ハエの大量発生に色々と考えたものだが、慣れてしまえば、「手で振り払いつつ、食べる。」それでもひどいなら「扇風機をかけて追い払う」それでも駄目なら「さっさと食べて、部屋に戻る」そんな方法しかないと思うようだ。

コンド購入 5

2006,3,22 

取り合えず、弁護士からは書類はOKとの連絡を受けた。

書類と言っても、最も心配なのは外国から入ってきたお金であることを示すものだけである。

あとは、売買契約書、相手のIDカード、登記書（抵当に入っているの、銀行の名前）が必要なぐらいのようだ。

もちろん、当日は、パスポートのオリジナルと労働許可書とお金（といってもキャッシャーチェック）を持っていくだけである。

ちなみに、弁護士費用は、1万バーツということで決まっている。

半日程度（実際は、役所が混んでいなければ2時間程度かもしれないが）の仕事（多分、土地局に行くだけ）だから、高いといえば高いと思うが、こんな事で、ケチっても仕方がない。弁護士費用は、必要経費であると思っている。

数日後に迫っているが、何となく心配である。

外国であるということが一番の原因であろう。

言葉の問題に関しては、書類の読解力は自信があるので、会話は分からなくても、書類を見れば、判断できる自信はある。

まあ、口で何と言われようが、書類がすべてであるから、あまり数多く話そうとも思っていないことも事実である。

コンド購入 4

2006,3,21 

本日、半日の休暇を取得し、外貨送金証明書を取得しに銀行へ行く。
 ちゃんと円送金したので、あまり問題はないと思うのだが、問題は、送った人（日本側）が親であること。
 もちろん、僕名義の口座に入ったので問題ないとは思う。
 ちなみに、トートー3という書類は、既になくなったらしい。
 FOREIGN EXCHANGE TRANSACTION FORMという書類が銀行から出された。
 確かに、円でいくら、EXCHANGE RATEも記入され、コンドミニウム購入の為に記載されており、コンド名、部屋番号まで銀行に頼んで入れてもらった。
 多分、これで、書類上は問題ないと思われるが、やはり心配で仕方がない。
 弁護士に書類を送って確認してもらっているが、果たして、その弁護士は大丈夫なのか？とも思うが、そこまで疑ってかかると何もできない。
 まあ、大丈夫でしょ。
 もし駄目なら、前金を全額捨てるか？ダムさん名義で買うか？どちらかである。

コンド購入 3

2006,3,19 

コンド購入の実際の日が判明した。
 3月30日に土地局（ゴロム・ティー・デイン）に行く。
 今の所、僕が用意しろと言われているのは、外貨送金証明書（トートーサム）だけである。要は、僕の場合、B-VISAや労働許可書もあるので、この金は、外国から持ち込んだ金であるということが証明されれば良いわけである。

しかし、中古物件なので、クリアにしなければいけないいくつかの問題がある。
 前の持ち主は、この物件をローンで購入しており、しかも、ローンは完済していない。
 つまり、抵当物件（ジャム・ローン）であるということ。
 これに関しては、銀行側も当日、来るらしい。
 しかも、支払いのキャッシャーチェックを2枚に分けてほしいと言ってきている。
 つまり、キャッシャーチェックの1枚目が、銀行への支払いで、それと同時に、抵当権を抹消する。その後、持ち主からきちんと譲渡手続きが終了し、僕が持ち主ということになれば、残りのキャッシャーチェックを渡すという手続きのようである。

もう1つは、居住証明書（タビアン・バーン）である。
 タイでは、IDカード（バット・プラシャーシオン）と並んで、効力のある証明書である。
 タビアンバーン記載の名前も抹消してもらわなければならない。
 但し、外国人の場合、土地所有権がないので、タビアン・バーンは、無記入であると聞いた。
 この点は、もう少し確認しなければ分からないが、タビアンバーンに似たものは、車にもあるのだが、所有者欄無記名のまま、所有者を証明する書類というもの、何故か不気味な気がする。

明日、外貨送金証明書というものを取りに銀行へ行く予定である。
 どんな書類なんだろう？

コンド購入 2

2006,3,8 

コンド購入に関して、外貨送金証明書の問題が大きな問題となっている。

日本から円建て送金をしなければならない。

僕の場合、タイで得た収入で購入するからである。

もっと分かりやすく言えば、パーツを日本へ外貨送金し、日本の口座からタイへ外貨送金することになる。

最近、マネーローダリングの関係で、本人証明が厳しく、外貨送金をする際に、本人の確認が必要である。

タイから外貨送金する場合は、問題はないが、僕が日本へ帰国せずに、日本から円送金をするというのは、非常に難しいようである。

1. 僕が親の口座へ入金し、親が僕の名義で送ると言うのは不可能。(本人確認が必要)
2. 僕が親の口座へ入金し、親の名義で送金(コンド購入者と送金者が同一の名前であることが必要。)

結局は、日本へ帰らなければいけないようである。

送料を節約しようと思ったら、自分で持ちかえるのがベストだが、僕にとっては大きな金額だし、そもそも外貨の持ち出し制限の金額もあると思う。

まあ、4月にダムさんと共に、帰国予定(観光で1週間)なので、その際に振り込むとしましょう。

- -



日本に行けるらしい。

2006,3,7



ダムさんのビザが下りた。

聞いたことも無い15日のビザである。

家に帰って、15日のビザを見るのが楽しみである。

周りから、日本へ連れて行くのに、(ビザの問題で)とてつもない苦労をしたという話を何度も聞いていたので、ちょっと拍子抜けである。

はっきり言って、外見で判断されるとしたら、相当に不利な容姿である。

これが、階級社会・学歴社会というものかーって思わざる得ない。

友人からも言われたが、「確かに、チュラ大を出た人間で、会社で働いている人間が、日本へ行って、逃げるとは思わない。」まあ、確かに、一理ある。

会社員であるということと、農民や物売りの場合も、大きく違うだろうしね。

物を売っているといっても、屋台の果物屋なのか、大きな店を構えているのかも違うだろうしね。

まあ、意外に、ビザ取得が簡単だったので、びっくりである。

- -



日本へ行けるの？

2006,3,6



ダムさんが「日本に行きたい。」とずーんずんっと前から言い続けており、そろそろ限界？と思い、4月の正月休みに日本へ帰国。

タイ人が日本へ行く場合、ビザが大きな問題となる。

ちなみに、ビザ申請の書類は、下記の通りである。

1.旅券

(6カ月以上有効期限が残っており、かつ査証欄の余白が2頁以上あるもの。旧旅券を保有されている場合には旧旅券も併せて提出願います。)

2.査証申請書1部

3.写真

(申請前6ヶ月以内に撮影された縦4.5 cm x 横4.5 cm、白黒、カラーを問わず無修正、無背景で鮮明なもの。)1枚

4.住居登録証(タビアン・バーン)原本・写し各1部

5.(1)就職されている方は所属会社が作成した在職証明書(役職名 入社年月日、月給及び休暇期間を記載)

(2)自営業の方は商業登記簿本

(3)16歳以上の学生の方は在学証明書及び扶養者の在職証明書又は商業登記簿本

(4)主婦など被扶養者の方は扶養者の在職証明書又は商業登記簿本

(いずれも申請前3ヶ月以内に発行されたもの。無職の方および証明書の入手ができない方についてはその旨書面にてご説明下さい)原本1部

6.初めての渡航で改姓・改名歴のある方、又は前回の渡航後、改姓・改名をされた方は、改姓・改名を証明する書類(改姓・改名証明書、婚姻・離婚証明書等)原本・写し各1部

7.銀行通帳(本人又は扶養者名義のもの)

(申請人本人が負担する場合。但し、公務員、株式上場企業・国営企業、大学等に勤務される方で月収が2万バーツ以上であることが在職証明書から確認できる場合には銀行の預金通帳の提出は免除されます。

これらの方の扶養親族の申請についても同様です。)原本・写し(全頁)各1部

知人訪問の場合は上記書類に加えて以下をご提出願います。

•渡航理由を証明する書類:(但し過去3年以内に渡日したことがある方については省略可能)

知人関係を証明する文書(知り合った時期・経緯を明記して下さい)、一緒に撮った写真、手紙、日本側知人の旅券写し(氏名、写真及び出入国証印のある項)等。

•日本側知人が旅費等を負担する場合:

日本側知人にかかる右証明書のうちいずれか1点(納税証明書、預金残高証明書、確定申告書控、所得証明)

で、書類は沢山出せば出すほど良いという噂を聞いたので(係官が選んでくれるという人もいるし、ポイント制で、出せば出すほどビザ取得が容易になるという話も・・・)

具体的に提出したのは、僕の給料証明、在職証明、預金通帳(オリジナル)、労働許可書(オリジナル)、パスポート(オリジナル)とおまけのように名刺を入れた。そして、僕が発行したスケジュールと保証書と招聘するに至った経由に関しては、別紙添付とした。

いつも思うのは、平成何年か分からないこと。そして、日本式の書き方の年、月、日とタイ式の書き方が違うので、戸惑い。サイン社会に慣れているので、日本式印鑑社会が不思議に感じる。印鑑に関しては、自分の印鑑を実に何年振りに押したって感じです。

ダムさんが余分に出した書類は、大学の卒業証明、兵役の証明、会社の在職証明、給料証明、日本語を勉強したという証拠の証書、日本語検定3級の受験票である。

以外にビザ審査に関して意外に早く、月曜日に申請し、水曜日に結果が出る。

本人は、ビザが問題なく許可されると思っているのに、「ビザ代がをくれ。」と言ってきたが、この出費がかさむ時期にとんでもないと思い、「ビザ代出すから、飛行機代出す?」で決着。

ビザが本当に下りるかどうかは、水曜日に分かる。

ちなみに、ビザ申請後、すぐに大使館から会社の総務宛にダムさんは本当に働いているかどうかの確認の電話が入った。保証人である僕のことは聞かなかったらしい。まあ、労働局発行の労働許可書、パスポート、名刺、会社発行の書類・・・ここまで出して、「本当に働いているか?」という確認があったら、日本大使館も、相当疑り深いというしかない。



コンド購入を決断した。
最終的に前金を支払うのは、今週の土曜日になる。
前金を払う＝後戻りはできないということの解釈になる。
実は、前から「このコンドの部屋を買う」という決断はしていたので、後は部屋選びということだけだったのである。
大体の相場も把握しているので、値段と部屋を比較し、「買いの部屋」ということで即決。

今まで、買う事ばかり（どの部屋を買うか？）を考えていたが、いざ買うとなると書類等が面倒である。
正直、ダムさん名義で購入すれば、何の労力も必要ないのだろうが、名義人がダムさんである以上、僕がお金を支払っても、居候のようで、やっぱり嫌である。

外国人のコンド購入と言えば、外貨送金証明書が必要である。

- 1．僕の場合、タイに住んでいること。
 - 2．タイで働いたお金で（つまり、現在タイにあるパーツで買いたいこと）
- を考えると、タイパーツを日本に送金し、日本から再び送り返すという面倒な手続きを取らなければいけない。
- 日本からの外貨送金の注意点としては、
- 1．コンド購入の為の送金である事を明記すること。
 - 2．円送金すること（日本でパーツに変換し、パーツで送金すると外貨送金に該当しないとのこと）
 - 3．購入名義人と送付人が同一人物であること。

こんなことが必要らしい。
僕の場合、タイに住んでいるので、日本から僕の名義で送金するというのが、一番の難題となる。
なんか、面倒くさそう。でも、欲しいのだから仕方ない。

- -



僕は、タイヤ交換ができない。
日本に居るころは、タイヤの交換は、オートバックだったし、東京ということもあり、雪が降るのは、年に数日程度。
その時は、車を運転しないという感じだったので、タイヤを交換しなければいけない場面に遭遇した事もなかったし、自分でやろうと思ったこともなかった。
タイで車を運転して、1年と4ヶ月がたつが、その間、タイヤ交換をしなければいけない場面に2回遭遇。
1回目は、会社に駐車してあった僕の車のタイヤの空気が抜けているのを発見。
これは、会社の運転手に交換してもらい、何の問題もなく解決。
2回目は、会社から出てすぐ、鉄の塊のような何かを踏んだのである。
「やばい」とは思ったものの、避けきれず、タイヤは一瞬にして破裂。
かなりのスピードだったが、何なく、路肩に駐車し、電話で運転手を呼ぶ。
これも、僕自身は何もすることなく解決。

タイの場合、道が悪いという原因と、道路に色々なものが落ちていているということもあり、タイヤのパンクは日常的らしい。
そういえば、街中のいたるところに、パ・ヤーン（パンク修理）の看板がある。
パンクだけなら、100パーツ以下の出費だが、破裂した場合、再利用不可となり、新規購入である。周りが、1個で交換すると駄目で、前輪なら前輪2つ。後輪なら後輪2つ購入しなければならないということ言うので、何も知らない僕は、言うとおりにペアで購入。
今回のタイヤ破裂の場合、かなりの衝撃だった気がしたので、タイヤ2つ交換 トヨタセンターでチェック・・・車検が無いタイなので、車の維持費は安上がりかと思っていたが、かなりの出費である。

前方不注意と言われれば、そんなもんだが、一瞬の不注意が、大きな出費を生んでしまう。

今回を機に是非、タイヤの交換の仕方を覚えたいと思う。

何が怖かって、山道で、タイヤがパンクした時は、どうするの？ってこと。

運転手に、現在位置を知らせようにも、知らせられないではないか？

そう思うと、タイヤくらいは、一人で取替えられる技量はないといけないと強く感じる。



120日間とは？

2006,3,2



ここタイランドの労働保護法によれば、入社後、120日以内の職員は、試用期間中の職員とされ会社はいつでも解雇できるとなっている。

逆に120日の試用期間終了後は、従業員側が強く保護される形となり、仮に首にする場合は、補償金の支払い義務・前もって通告する義務も発生し、前もって通告しない場合、1か月分の給料を支払う形となる。

先日、社内で初めて120日の試用期間を通過しない職員が出た。

試用期間終了後、正式採用しないという結論を出した。

これは大変良い傾向である。

今まで、「もう少し、教育したら・・・」とか「もうしばらく様子を見てから・・・」と言って、「この人は、駄目かも？」と思いつつも、ずるずると雇用を続け、結局は高い金額の補償金を支払って解雇せざる得ない状況が何度も発生した。

最近では、自分も、周りの日本人も、「駄目なものは、駄目で、さっさと見切りをつける。」

「駄目なものは、教えても良くならない。」ということを実感している為、早めの結論を出すようにしている。

とにかく、個人格差が大きいので、面接だけでは、出来る・出来ないの見極めは非常に厳しく、実際に使ってみて、その課の責任者が判断するしかない。

この会社に入社してから、自分が解雇を言い渡す役を何度もさせられてきたが、今回は非常に気が楽である。

試用期間終了後の評価表を提出し、同時にその評価表には、課のマネージャーが評価し、その人のサインが入っており、試用期間を通らなかった旨の欄にレ点が入り、もともとの契約書自体（入社契約書）も120日の契約書なので、何も遠慮する事はない。

「あなたとは、120日の契約しかしていない。お互いに、気に入ったら、120日後に正式契約しましょう。」という約束の契約なのだから・・・

実際に、色々な人の履歴書を目にすることがあるが、4ヶ月だけという履歴書を数多く目にするが、それは、試用期間を通過しなかったという証であると思えて仕方がない。

僕からすると、4ヶ月だけの職務経験なんて、書かなくても良いのに・・・って思うが、タイ人からすると、立派な経験ということになり、きちんと誇らしげに記入し、真偽の程はともかく、退職の理由も、最もらしい理由を書いている。

まあ、いずれにせよ、少しずつ会社としての決まりごと、システムが出来てきて、楽になっていってる気がする。



日本の友人の今

2006,3,1



日本の友人が遊びに来た為、パタヤで会った。(お仲間じゃない人)

何故か、沢山の愚痴を聞いた気がする。

日本の生活も大変なんだなーって思う。

周りの友人の近況と言う名の噂話もたくさん聞いたが、どうも、20代~30代は、結婚、出産、そして、離婚というおまけも付いている人も何人かいるようである。

どういうわけか、「うつ病」にかかり・・・という話も耳にした。

タイ人も現在の生活に常に不満を持っているという印象を持っているが、日本人も同様に現在の生活への満足度は極めて低いのではないかと思う。

なにを基準にして、今の生活に満足しているか?成功しているか?幸せか?は、人それぞれの価値観であるし、比べる必要もないような気がするが、平均化社会で育った人間には、人の生活と、自分の生活をどうしても比較したいようである。

加えて、ニートとか下流生活とか外こもりとは、変わった日本語をいっぱい聞かされた。

ぱっと聞いた限りでは、「精神的に悩んでいるなー。」よくよく聞くと、「生き方の多様化」ともいえる。

そんな日本の中で、僕のような海外に飛び出して行き、生活をしている人間のことを普通の人たちはどう見ているのか、非常に興味があるし、帰国後、噂のネタになるのは目に見えている。

海外に出てしまったので、ある意味、吹っ切れているので、周りがどう思おうが、知った事ではないが、昔の同僚に羨ましがられる人生を送りたいものである。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

日本帰国で感じたこと その1

2006,4,25



前後するが、日本行きについての総合的な感想を述べたいと思う。

まずは、僕自身の事。

東京と言う街のスピードの速さもあったかもしれないが、知らないこと、初めて見るものが多くて驚いた。

電化製品・電波時計・無人ガソリンスタンドも初体験。

風景は変わらないものの、何か取り残されているように感じた。

そのうち、携帯で電車の改札を通過しているのを目撃したりしたら、電車の切符の買い方まで驚く羽目になりそう。

たかが5年の歳月とはいえ、日本は確実に変わっていることを感じ、再び日本で生活をはじめるとしたら、大げさかもしれないが、リハビリ期間も必要かもしれないと思ったし、多分、快適な生活を望めないような気がした。

タイで生活を始めて、9月で5年が過ぎようとしているが、今のところ、日本に生活の拠点を移す予定も希望も無い。

曲がりなりにも、車やコンドと言った大きな買い物もしたので、離れたくても、処分に困るような感じもする。

それと共に、5年近くたって、「タイで(外国で)生活していける。」という自信も出てきた。

年齢を考えても、今が働き盛りであるので、今のうちに貯金して、45歳ぐらいで、早期リタイヤをするのが、最近の夢である。

早期リタイヤと言っても、会社(組織)に属すのを辞めるということで、喫茶店でもオープンするか、翻訳事務所でもオープンして、適当に食えれば、良いなーって、本気で思う。

まあ、日本での生活設計というのは、今のところ無いので、東京のマンションも、本気で考えなければい

けない時期になってきたような気がする。

日本の景気がバブリーになり、少なくとも購入したときと、同じ値段で売れるならば、今すぐにも・・・と思うが、中古物件の現実は・・・である。

とは言っても、JAPANESE MONEYは、強く、売ってパーツ換算でもしたら、早期リタイヤの時期が、意外にも早く訪れるのではないかと勝手に想像する。

リタイヤという言葉や考えが出てくること自体、年を取ったのだなーって感じてしまうが、タイで生活を始めたのもそうだが、後悔のない人生を送りたいし、ゲイとして、子孫に何かを残す必要がないので、自分の人生を精一杯ハッピーに生きる方法を考えていこうとふと感じた。

日本に帰って、「タイで生きる」と言う思いを強く持った気がする。



やはり、ファランだらけ

2006,4,24



コンド購入後1ヶ月近く経つが、一日、ゆっくり過ごしたことなく無かった。

電化製品の購入からはじまり、細かいものの購入、慌しく日本へ行ったりしていたし、平日は、田舎に住んでいるのでパタヤには帰らないし・・・

で、初めてコンドで1日過ごした。

これですよ、これ・・・朝起きて、鳥の声を聞きながら、コーヒーを飲み、その後、プールで軽く泳ぐ（実際は、歩いているだけ）・・・食事に行ったり、買い物をした後に、再びプールで軽く泳ぐ。

望んでいた、休日は、これだーって思った。

本当は、日曜の夜に田舎に帰るのだけれど、思わず、パタヤに泊まってしまった。

土日休みの日は、金曜の夜、土曜の夜、日曜の夜の3泊。

土曜日が仕事の日、土曜の夜、日曜の夜の2泊することになる。

家具を買い揃えていないので、ベランダに直に座ってビール飲んだり、コーヒー飲んだりしているが、家具がない分、逆に、広く感じる。

「家（部屋）の中で、料理は絶対に作らないように。」と言ってあるので、紙くず程度のゴミしか出ないのも部屋の清潔感を保っている。

気が付いたことだが、予想以上に外国人居住率が高い。

土地の登記上は、3割ぐらいのようだが、外国人がお金をだしているが、名義は、タイ人という場合もあり、予想では、70%以上の割合で、外国人が絡んでいると思う。

プールから、他の部屋をふと見ると、ベランダにファランの姿がやたらと目に付くし、プールに至っては、外国人とハーフの子供でいっぱいである。

パタヤに住む以上、何処に行っても、ファランと遭遇することは、宿命だと思って諦めるしかない。

それにしても、このコンド、100%タイ人の家族は、見当たらない気がする。



買い物

2006,4,11



日本で買い出ししてもの。

1.時計・・・自分の分だけと思っていたが、結局ダムさんの分も買うこととなる。ちなみに、電波時計なる狂わない時計が売られており、驚いた。電波と聞いて、人体に影響がないものか？とふとってしまうのは、僕だけだろうか？ちなみに、タイは、当然のごとく電波時計の該当地域ではないので、日本で購入し、タイで使う場合は、無意味の時計である。

2.100円ショップの品物・・・ここでは、ダムさんに「何を買っても良いよ」と言っていたので、一番楽しそうに買い物していた。携帯置くための可愛いぬいぐるみ等、タイに売っていないのかな？って思ったけど、欲しいものを欲しいだけ買わせてあげた。

3.コテコテのお土産品・・・富士山の5合目に富士山を形取ったキーホルダー。都庁の展望台に上ったときにも新宿と書いてあるキーホルダー・・・日本人なら、少なくとも都内在住の人間は、絶対には買わないと思われるような品物ばかり。コテコテのお土産というのは、こういう人が買うんだーって分かった(笑)

4.電化製品・・・というか、パソコン製品。やはり、日本は安いと思う。しかし、電気屋をぐるっと回ったときに、「この商品は、何をやるものなのか？」と言うこと自体が分からないものがあり、元々、メカに強いわけではないが、時代に乗遅れていることを実感せざるを得ない。

5.食料品・・・いつものことだが、タイに帰れば、それほど必要ではない。そもそもタイ米と合わないし、酒のつまみ類が、多いが、日本酒とは合うが、ハイネケンとは合わない場合も多い。でも、ついつい、酒のつまみを購入。カリカリ梅を何故か3袋も買ってしまった。お菓子も大量に購入したが、結局は、帰国後、会社にばら撒いただけで終わった。

久しぶりと言うこともあり、大量に物を買った。その為、行きは、隙間だらけのカバンが、帰国時は、大量に膨れ上がっていた。



富士山へ

2006,4,10



富士山に行った。

日本に住んでいた頃、ちょうど良いドライブコースだった為、何度か行ったことがある。

もちろん、麓まで、山登りをしたことは一度もない。

富士山は、やはり海外でも有名で、日本と言えば、さくら、富士山、新宿が、僕が勝手に想像する有名ベスト3だと思う。

あいにくの、天候だったが、近くに行けば・麓まで行けば、綺麗な山が見えるだろうと思っていたが、大きな間違い。

いつも、ドライブコースの最終地点にしていた県立ビジターセンターに到着したが、曇り空しか見えず・・・こんな風景は初めてで、僕自身驚き。

せっかくここまで来て、空足で帰るもの何なので、5合目まで(車で行けるところまで)行くことに・・・驚くことに、道沿いに、まだ雪が残っているではないか？

但し、道路沿いの残雪は、黒くなって見た目も悪い。

しかし、上るにつれて雪の量も増え、5合目に到着すると、雪化粧の富士山が見えた、正直、僕自身も感動の風景。

ダムさん、写真取ったり、雪で遊んだり大喜び。

印象的なのは、すごく嬉しそうな顔で「寒い」って言うこと。

富士山5合目で、山菜そばを食べたが、ダムさん、ここでも何も食べず。

コーヒーを注文しただけ。

そういえば、タイでは、山菜って食べた事がないかもしれない。

富士5合目は、外国人観光客が大勢訪れており、お土産やの店員さんが、外国語(多分、中国語)を連呼しながら販売していたのには驚いた。

ちなみに、途中、ガソリンを給油したが、なんとセルフなんですね。

どう扱って良いか分からなかった。

人件費の高い日本・・・その割にはガソリン代も高い気がするけど・・・

今回は、高速道路のお金の支払いシステム（自動支払い）に驚き、今回は、無人のガソリンスタンドに驚いた。

若い世代が減少し、労働力が不足しているとは言え、どんどん機械化が進み、人と接しない世界になるんだろうなーってちょっと思った。



日本の食事は、如何？

2006,4,9



一番、心配であった食事。

予想通り、ほとんどが駄目で、出発当日に買ったタイのふりかけや缶詰やレトルト食品が大活躍。

初日は、一番行きたかった寿司（廻る）・・・たまご、かんぴょう、カリホルニア巻、茹海老に味噌汁を二口ほど飲んだ程度。

一番美味しかったものは？の問いに「茹でた（蒸した？）海老。」

甘エビの方が、数倍美味しいと思うんだけど・・・

イクラとか食べてる僕を見て、不思議そう。

翌日は、そば・・・これは、自宅で作ったのだが、まさか、葱だけしか具がないというわけにもいかず（僕は、さっぱりと葱だけでよかったのだが・・・）冷蔵庫に眠っているイカをぶち込む。さすがに、麺類は抵抗無く食べたようだ。

2日目の昼から、自炊にて、タイ料理のオンパレード・・・トムヤム・ガイ、トムヤム・プラー・クラッポン等・・・

友人と居酒屋に行ったあたりから気が付くのだが、タイでは見向きもしない食べ物・・・サラダ（生野菜）をバクバク食べている・・・マヨネーズをぶっかけて・・・分かったことだが、サラダぐらいしか、目の前に出されたもので食べるものが無かったようだ。

ラーメン屋でも日本のラーメンは食べずに、チャーハンとチャーシューつまみを注文。

僕は、とんこつスープラーメンを食べて、大満足。

そういえば、8番ラーメンでも、トムヤム・ラーメンを注文するダムさん。

日本のラーメンは、駄目らしい。

この状態が、延々と続き、最後の最後まで、日本食は、ほとんど食べられず。

申し訳ないことだが、僕自身が、久々の日本なので、コテコテ日本食。

そりゃ、納豆に筋子入れて、ネバネバ混ぜている風景を見たら、食欲も減退するのかもしれない。ちなみに、新鮮な納豆は、美味しかった。

最終日にここぞとばかりにそうめんを食べてきたのだが、ダムさん、手付けずに、「お腹すいていない」

しかし、空港到着するとすぐに「お腹すいた」結局、マクドナルドで食事。

「食は文化なり」とも言うし、旅の楽しみの一つが、食事であるとは思いますが、そういう楽しみは無いようだ。



日本の不思議

2006,4,8



日本へ行って、ダムさんが一番驚いた事。
それは、建物でもない、電車でもない、人ごみでもない。
それは、街中がきれいなこと。
そして、ゴミが無い(落ちていない)事。

確かに、ゴミ事情は、年々厳しくなっている。
最初は、「面倒くさい」とか思っていたても、しばらく経てば当たり前の世界。

僕がタイに来たころの日本は、分別と言っても、ビンカンと電池やヘアスプレーぐらいであった気がする。それに加えて、月に何度か、寄付と称する古紙回収日があったくらい。
「透明な袋でないと回収しない」と言う話で大騒ぎになっていたが、スーパーの袋が、透明な袋に変わって騒動も終わり。

今回。日本へ帰って、ゴミに関しては、市発行の袋じゃないと出せないと言う風に変った話を聞き、驚き。
しかも、当たり前の話であるが、ゴミは、朝出すのが常識で、ゴミ収集車が去った10時には、ゴミ捨て場は、綺麗なものである。
日本人のマナーの良さを実感。

だからと言っては何だが、綺麗な街・ゴミのない街。
そんな印象を持ったダムさん。

そう言えば、バンコクは・・・・
田舎に行っても、ゴミに関するマナーは出来ておらず、特にビン・缶は金になるので、そのまま積んであるだけ。
そんな世界に育っているとはいえ、不思議な国に映ったようである。

-



日本へ行く

2006,4,7



仕事が終わりに、田舎の部屋 大急ぎで身支度 パタヤのコンド到着 お土産やタイ調味料を購入 荷造りを終えたのが深夜23時。

はっきり言って、ここまででクタクタ。

しかも、体調不良。

タクシーの予約は深夜2時。

2時間後には、起床と思うと、考えただけでゾットする。

深夜1時半起床・・・・シャワーを浴び、タクシーに乗る。

夜中に運転するは御免なので、1200バーツでタクシーを予約し、空港まで直行。

4時には空港に到着したが、この時点で、フラフラ。

ダムさん、超ハイテンションで話しかけてくるが、ちっとも頭に入らず、ただただ、早く搭乗したいと願うのみ。

KFCで時間をつぶし、両替をする。

その昔、遠い記憶であるが、残りのバーツを全部円に両替した時、当然、10円や1円まで両替できるわけもなく、端数のバーツも返ってくるはずもなく・・・・どんぶり勘定両替だった記憶がある。(正しくないかもしれないが・・あくまで遠い記憶)

今回は、円欲しいけど、何バーツって両替したら、ちゃんとレート計算してくれて、バーツと紙に書いて出てきた。

きっかり払って、きっかり両替。

何か、いい気分。

日本に行くのに、バーツから円に両替しなければいけないというのは、いかにも恥ずかしいものだが、実に、銀行のカードが仮に使えなかったら・・・・という恐怖があり、念のために、円に変えたのである。

何と言っても、5年も前の事なので、銀行の名前も2回ほど変わっている。

まあ、結論を言えば、問題なく、昔のカードが使用できた・・・と言うことです。

今回は、節約して、UA便を利用。

その為、朝の6時代の出発で、前述したような、「前夜眠れず」の旅となった。

まあ、おかげで飛行時間は、ぐっすり寝ることができたとも言える。

食事を美味しいの不味いだの言う人もいるが、僕は、そもそも、あの狭い空間で食事をする事自体が嫌だし、好きな時間に食べられない(実際は、後で食べることも可能だろうが、そこまで勇気もない)、美味しくないからって、自分で持ち込みしたら、文句言われるし・・・ろくなことがないとは思っているし、期待もしていないが、期待値が低いにも関わらず、文句の2つも3つも言いたくなるような内容だった。しかし、ダムさんは、飛行機の中で食事が出てきた事自体に感動していたらしく、普段、絶対食べないサンドイッチ(チーズ入り)を食べていたのには驚いた。

しかも、何だか分からなかったようだ。

そう言えば、ハム・チーズというのをダムさんが食べたのを見たことがない。

ピザを食べたときに、見たぐらいだろうか？

僕は、ずっと寝ていたが、ダムさんは、機内を十分に楽しんだようだ。

体調がすぐれない日々

2006,4,3 

昨日から具合が悪い。

浴びるほど飲む毎日のビールと、ここ最近の疲労が溜まったようだ。

日曜日の買物の時に、もの凄い暑さを感じたのも、要因だと思う。

大げさかもしれないが、コンド購入に関して、極度の緊張が続いていたのも原因だと思う。

基本的には、タイで生活しているといっても、日中は冷房の効いたオフィスで仕事をしているので、暑さに強いとは言えない。

バンコクで生活していた時、バスを乗り継いで学校に行ったり、バイトに行ったりしていた頃が、一番、暑さに強かったのかもしれない。

暑いとか言っている場合じゃなく、生活すること自体が大変だったような気もする。

現在は・・・と言えば、基本的に、暑い時間帯に、外に出るというのは、工場棟から食堂棟に行く、ほんの20メートルぐらいの距離で、後は冷房がガンガンである。

週末は、エアコンのあるホテルで過ごしているか、サウナで、一週間分のビールを搾り出しているのである。

タイ生活、健康第一であると思うが、段々弱くなっていく気がしてならない。

鍛えようOR ビール辞めよっと。

買物で終わった1日

2006,4,2 

買出しの1日だった。

新しい住居を構えるとなると買うものが増え、出費が増えるのは当たり前のことである。また、週末用の部屋・平日用の部屋と二つあると、出費も増えるのは当たり前である。

「土日しか使わないから、安物でも・・・」と言う気持ち。
賃貸ではなく購入したのだから、「せっかくだから、長持ちする品質の良いもの。」
色々な気持ちが入り混じる。

これだけは実現したいのは、天井扇風機である。
タイ生活に相応しい飾りつけだと思う。(実用性もあり)
今まで、賃貸アパートで付いていたことがなく、ずっと憧れだった。
この天井扇風機は、部屋代の高い・安いに関係ない。
ひょっとすると、部屋代が高い=エアコンが付いている=天井扇風機はないという理解の方が正しいかもしれない。つまり、安い部屋のほうが付いている率が高かったりする。

僕は、エアコン嫌いだから、「天井扇風機のほのかな風の中で寝たい。」とつくづく思っていた。
やっとそれが実現しそうである。別に高いものではなく、600Bぐらいからあるし、豪華に見える電球が付いていても、3000パーツ弱である。
天井に取り付けるので、「あまり豪華で重いと、落下したらたまらん。」と思い、電球なしを選んだ。
電気の配線があるので、一人での取り付けは出来ない。
チャン(専属の修理工事専門の人)を呼んで取り付けの事とする。

細かいものは良しとして、問題は机・椅子である。

「ベランダに机と椅子を置いて、ビールを飲みたい。」というのが僕の気持ち。(出来れば、南国らしく、観葉植物でも置いて・・・)
木の机は、ピンキリの値段で、安いものなら、2500パーツぐらい(椅子4個付き)
我が家のベランダのサイズに合わせると、高くても6,000パーツほどである。
しかし、僕は、籐でできた椅子とテーブルセットが欲しいと思う。
気に入ったのがあったが、36,000パーツだった。
欲しい・欲しい・欲しい・・・でも、この値段は、高いと思う。
ダムさん曰く、「もったいない」と言う。
僕も、確かに高いような気がする。
でも、籐のテーブルセット(テーブルの台は、強化ガラス)が欲しくてたまらない。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

パタヤ寄り、田舎離れ

2006,5,29

最近、非常に朝方人間となっている。
 夜の10時に友人からかかってきた電話に、寝ぼけ声で、「朝の5時に何なの？」って答えてしまい、時間の感覚が分からない。
 だって、朝も5時過ぎに起床が続くと、21時前には熟睡しているわけである。
 今週は、結局1日も田舎に宿泊することなくパタヤに泊まった。
 恐ろしいのは、ガソリン代であり、現在は、レギュラ - ガソリンが28パーツを超える高値であり、500パーツぐらい入れたって、あっという間に、ガソリンは空である。
 パタヤに宿泊した場合、どうしても、レストランで食事をする機会も増え、ついつい、バーで飲んでしまうこともあり、ガソリン代、食事代、ビール代・・・どれを取っても、不経済である。
 唯一、朝早起きになったことだけが自慢できることである。
 今日、田舎で寝ようと思ったりもするが、結局は、パタヤを目指してしまう。
 ダムさんが、100%パタヤなので、「一人で田舎に宿泊しても、面白くもなんともない。」
 というのが、本音だが、ダムさんが軍隊時代は、一応、一人で、田舎におとなしく泊まったのになーって思う。

パタヤもそうだが、田舎は特に、虫の大発生季節である。
 ハエはもちろん、マレーン・マオの大量発生の時期である。
 雨の降った翌日に、羽虫が車にビターって羽をつけてもがいている様子は、最初は気持ち悪くて仕方なかったが、慣れというのは怖い。
 雨の後は、大量発生も分りきっているので、さっさと網戸を閉めて部屋に侵入しないように細心の注意を払う。
 それで、部屋に入ることのできなかつたマレーン・マオが、ベランダで大量に死んでいる姿を見て、さっさと処分する自分が、不思議である。



海外へ・・・

2006,5,28



7月のことになるが、自分の課の職員と共に、シンガポールを旅しようと言う計画が急に持ち上がった。最初は、プーケットを予定していたが、プーケットは、何故か高い。プーケットが持ち上がった理由としては、パタヤの空港（ウタパオ空港）から直接行けるからである。ウタパオ空港まで1時間以内で、その後、飛行機に乗って1時間ちょっとでプーケットに着くならば、楽な旅であろうと、勝手に想像していたところ、調べてみると、とんでもない結果に・・・ウタパオ空港からプーケット、毎日便がないようである。多分、我社だけではなく、世間一般的に休みであると思うが、それでも、連休の日があるということである。しかも、ウタパオ空港と言うマイナーな空港の割には(関係ないか?)非常に料金が高い。競争が無ければ、こうなるか・・・と思わざる得ない料金設定である。独占路線なので、競争ライバルはなし。

で、はっきり言って、シンガポールと値段が変わらない。ならば、外国へ・・・という話になるのも当然の成りゆきである。

シンガポールか・・・よっぽどカンボジアの方が魅力的可愛い子が居そうな気がする。まあ、ものは、試しに・・・でいっぺん行ってみると良いかもしれない。タバコはともかく、ガムも持ち込めない国なんですよー。ちなみに、見所は何さーって感じ。英語は、話せないんだけど・・・部下と一緒に行くの、恥ずかしいー。

色んな思惑をありながら、国内は、いつでも行けるので、チャンスがあれば、遠くに行く。自分が言いたしっぺなので、仕方が無い。年に何度もないことなので、パッーット、楽しく行きましょう。

ちなみに、部下が気を使って、AIR ASIAなる格安航空会社を見つけて着たが、果たして安心できる会社なのであるか??



ジョムティアン・コンプレックス

2006,5,15



ジョムティアン・コンプレックスで飲む機会が増えている。家から近いと言うのが一番の理由である。コンドから見ると、丁度スニーの半分の距離である。スニーも外国人が客層としてはほとんどであるが、スニーのソイ自体が、タイ語で言うトック・テウ（長屋ビル）に囲まれており、お洒落な街並みとは程遠い感じ。しかし、ジョムティアン・コンプレックスは、割とお洒落なレストランが沢山あり、その中に、バービザが点在していると言う感じ。ピザやスパゲティーを売る店が多いし、レストランと言う感じの店が多い。バービザで飲む分には、スニーより5パーツ程度安いと言う感じ。しかも、HAPPY HOURを設けている店が多く、僕が最近良く行く店は、7時までが20%引きである。正直言って、安いと思う。最近、すっかりパタヤコンド生活に浸っており、朝が早い。朝は5時、夜は10時に就寝の世界である。できるだけ早く帰って、明るいうち（いや、夕日を見ながら）ビールを飲み始める。そして、9時には家に帰り、諸々の用事を済ませて、22時には寝る。そんな朝方生活になりつつある。



家具

2006,5,14



家具が届いた。

INDEXと言え、タイ在住者なら誰でも知っている家具屋
一般の店よりも値段も高いので、一般的には、ブランドイメージは高い。
しかし、購入するときから、とぼけた店だった。

1) 家具の上に置かれている値札と、実際の値札が一致しない。
2) それぞれ10%引きで、3点買うと、合計から30%引いた金額が最終金額であると言う店員。会計は認めるわけも無く・・・

1000円のもの3点でそれぞれが10%引きなら、900円が3点で2700円が正解。

店員さん、3000円から何故か30%引く計算をして、2100円と言う。

上司が、説明して、不思議な顔をしながらも納得。

配達日、13時まで配達とのことだが、13時を過ぎても配達されない。

引換券を見ると、本店の住所と電話番号しか載っていない。

しかも、店ではなく本社のようで、日曜日の為、誰も電話を取らず。

支店名と支店番号だけ書いてあるが、電話番号が書いていない。

仕方なくパタヤ支店へ出向き、「今日は、本当に配達されるのか？」って聞く。

受付の女の子は、英語が分からず(読めず)顧客名の僕の名前(英語)を見て、なんて読むのか質問。

「怒っても、文句を言っても始まらない。」「事は、どんどん悪い方向に進み、悪化の一途をたどるだけ。」「・・・これ、タイ生活で学習したこと。

「何かをすれば、何かが起きる。」と言う人がいるが、少なくとも、最近感じるのは、仕事に関して言えば、バンコクよりも人間のレベルは低いと思う。

違う側面から言えば、バンコクより何も知らない素朴な人間が多いということか？

いずれにしても、地方であることには変わりはないと思う。

住んでみれば、パタヤも小さな町で、ある地域限定で発展しており、5キロも郊外に行くと、田舎風景が広がる。

そんなパタヤ。



最近・・・

2006,5,8



ジョムティアンでの生活にも慣れてきた。

最初は、平日は田舎生活、休日のみパタヤで・・・と思っていたが、結局は、パタヤ宿泊の比重が日増しに多くなっており、最終的には、ジョムティアンから通勤するということになりそうである。

片道50KMの通勤は、確かにしんどいが慣れてしまえば、そんなものである。

朝の5時半起床も、慣れてしまえば、自然に目覚める。

毎晩というのは、大げさだとしても、海を眺めながら食事をする機会が多い。

つまり、ジョムティアンのビーチ沿いのレストランで食事をする機会が多い。

海沿いなので、シーフードばかりか? といえば、そうでもなく、普通の注文食堂や、イサーン料理の店も多い。

ちなみに、どういう理由か、海沿いは、ここパタヤのみならずイサーン料理を販売する店が多い。日本人なら、海で食べるものって?、カキ氷? カレー? ラーメン?

タイ人は、ソムタムらしい。

バンコクで仕事をしている人が、たまのリゾートで海を見ながら食事をする時の感動に比べ、今の僕たち

は、海辺での食事が当たり前になっており、感動は、感じない。
 もっといえば、連休にリゾート地（サムイ島やプーケット島）へ行ったとしても、あまり感動は感じない
 であろうと思う。
 連休があったとしても、別に特別な旅行は良いから、パタヤでのんびり過ごしたいと思う。



混雑パタヤ

2006,5,1



4月、5月は、休日が非常に多いタイランド。
 4月、29日、30日、1日は、タイも3連休の会社が多かったようだ。
 タイは、日本と違って、国民の祝日がはっきり決まっていない。
 会社によって、地域によって、異なる。
 祝日も、慣習と、地域の風習に従った休暇となっている。
 中国系の会社は、中国正月の際に、たっぷり休み、ファラン系は、クリスマス頃から休みだし、日系は、おまけのように8月のお盆の時期に4日ぐらいの休みを取る会社が多い。
 労働保護法の中でも、5月1日だけは、例外で強制的に休まなければならない。
 日本語で言えば、「習慣と風習に則った特別休暇を年に13日以上もうけなければならない。但し、5月1日を含むこと」となっており、会社は、ほとんど休みとなる日である。
 だからと言うわけではないが、パタヤは大渋滞。
 こんなパタヤ初めて見たような気がするってくらい渋滞。
 ジョムティアンでイベントを行っているということもあり、大渋滞・大渋滞。
 ちなみに、ゴールデンウィークだからか、スニー界限も日本人がいつも以上に目に付いた。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

3日目

2006,6,29

ダイエット3日目も工業団地内を走った。
 かなり気持ちよく、軽快に30分間走った。
 夕食は、缶ビール1本と豆腐スープとご飯のみ・・・うーん、理想的な食事である。
 日中、身体に残るアルコールが少量の為、食事が美味しく感じる。
 ちなみに、今日の昼食・・・スッキー1杯、クittyアオ1杯、ご飯少々である。
 日本人の感覚で言えば、ラーメン2杯とご飯と言う感じ。
 いやはや、食べすぎである。
 しかし、空腹を我慢するようなダイエットはできないことから、ウンセン（春雨みたいなカロリーが低そうな食べ物）と野菜を多くとってお腹を膨らませるようにしている。
 お腹がいっぱいになるが、脂肪の少ない食べ物・・・というのが、理想である。

しかし、ビールの量を極端に減らしたことで、とんでもない問題が発生。
 水分不足のためか？便秘である。
 浴びるほどのアルコール摂取生活は、朝、快便であった。
 まあ、快便と言うよりも、ほとんどお腹をこわした状態である。
 そりゃ、大瓶を平均で4本も飲めば、3リットル近い水分摂取である。
 そりゃ、お腹も壊すはずである。
 まあ、ビールの量が極端に減ってからは、どうも便秘状態が続く。
 顔に、年甲斐も無くニキビ（吹き出物）まで発生。
 まあ、しばらくして、身体が脱アルコールに慣れてしまえば、元に戻るとは思う。



ダイエット2日目・・・田舎の街中をマラソンすると犬に吠えられ、噛まれそうになるので、工業団地の入り口に車を止めて、工業団地の中を走る。

いつも車で通過している道・・・車ではあつという間の距離だが、自分で走ると、かなりの距離。まあ、一つ工場を通過するだけでも、かなりの距離の工場もある。

日本と違って、ここタイランドでは、工場の敷地も、贅沢に広々と出来ている。

木が植えられていたり、環境に気を配った作りではあるが、それ故、とても広い。

マラソン初日なので、ジャスト20分のマラソン。

いきなり張り切りすぎて、翌日、動けなくなっても困るので、マラソン初日は20分で勘弁。

20分を過ぎた頃から、体脂肪は燃焼し始めるということは、十分に承知しているが、運動不足の身体には、初日としては、これが限界である。

その後、ソムタムとラープとカウニアオとビアチャーン大瓶1本。

まずまずの、ダイエットメニューであると思う。

ダイエットをしてから気がついたこと・・・ダイエット生活=ビールをセーブした生活=節約生活であることに気づく。

田舎で、酒を飲まずして、1人100パーツ以上の食事なんぞ、逆に無理なのである。

ビールを飲むから、訳の分らない高カロリーのつまみが増えるのである。

そういえば、この国、ラーメン1杯25パーツほどに対して、ハイネケン60パーツ。外で飲めば、いくら田舎でも70パーツ・・・MKでは、130パーツである。

安い安いと言っても、ビールを何本か飲めば、夕食代は、500パーツ。

昨日もそうだが、チャンビール1本だけの場合は、夕食代は100パーツ也。

ダイエット生活=脱アルコール生活は、意外にも、節約生活になるようである。

まあ、アルコールなんぞ、トイレに流すだけだから、もったいないと言えば、もったいないですもんね。

お腹の脂肪を減らしたいと言う欲望は、思わぬ所で、大きなプラスをもたらしてくれているようである。

そうそう、昔の生活に戻れば、計算上では、毎月、びっくりするような金額の貯金ができるはずなのだが・・・

さて、念願の辞書が手に入った。

しかも、会社の金で、買ってもらった。

何年も思いを寄せてきた本である。

その名は、「タイ日大辞典」富田竹次郎先生の辞書である。

この辞書、タイ語学習者の間では、人気の辞書である。

しかし、値段がやたらと高い。

日本円で28000円。タイで購入したので、15,543パーツ也。

本(辞書)の値段としては、高価と言わざる得ない。

欲しいけど、自分で買うのは、ちょっとためらってしまう価格。

会社の経費で買えた事で、上機嫌である。

だって、会社のものと言っても、どう考えても使用する人間は、僕だけである。

会社の資産・・・しかし、使用者は、僕1人である。

ウヒヒ・・・なんか、嬉しい。

今日は、これ持って帰ろつと。(もちろん、明日、会社に持ってきますよ)





免許を返して――

2006,6,25



警察に捕まった。

と言っても、交通違反である。

何を違反したのかすら分らず、ボケーっしてしている間に、あっという間に切符切られて免許書を取り上げられてしまった。

いわゆるねずみ取りで、赤信号になったのにもかかわらず、前の車に続いて右折したことが原因らしい。このようなネズミ捕りの場合、「助けてください、この金で・・・」というわけにはいかず、お上の言いなりに、免許を持っていかれ、警察に出頭するしかない。

「いつ、出頭すればよいか？」と聞いたら、「明日の朝以降」というので、朝の9時に警察署出頭・・・いや、免許書を取りに言った。

免許所が無い・・・正確には、届いていない。

同じように、免許書待ちの人間が、いっぱい。

正直、「イライラする気すら起きない」という感じ。

免許書を取り上げて出頭しろというのなら、予定の時間までに、その免許書を予定の場所まで届けて欲しいというものである。

「それは、私の責任じゃない」というタイ人を象徴するかのようには、免許を取り上げた方は、取り上げて、罰金切符を切るのが仕事で、預かった免許証を無事に警察署へ届けるかどうかは、他人事。

警察署の人間は、警察署の人間で、「まだ、届いていないものは、返却しようが無い。そのうち届くから、待て」の姿勢。

「時は金なり」と言う言葉を言っても、駄目だよな―――ってつくづく感じる。

と言うわけで、2時間半かかりで、免許書が手元に戻った。

何処の国でも同じだと思うが、警察とは係わりあいたくないものである。



日本化

2006,6,18



最近、ダムさんが日本人化してきたことに気づく。

まず、箸の使い方が上手になったこと。

そして、日本食へ行っても、ダムさんの食事を心配する必要がなくなったこと。

刺身以外は、何とか食べられるようである。

レポートも増えてきた。と言っても、牛肉のスライス炒め・豚の角煮がお気に入り、後は、食べられるというだけ。

ちなみに、絶対に駄目なのは、納豆と刺身（寿司含む）

もうひとつ驚くことに、洋食屋（スパゲティー屋）に行っても、普通にトマト味のスパゲティーを食べている。

さすがに、粉チーズは見たことが無く、匂いを嗅いだ後に、ふりかけなかった。

ちなみに、すごーく、恥ずかしいことであるが、お互いの愛情を確認しあう儀式の最後に、日本式にフィニッシュの合図を言ってきた。

恥ずかしいが、一言で言うと、「いく―――」って言ったのである。

これには、僕も、久々にぶったまげた。

日本化していくダムさん・・・来年も、日本に行くつもりらしい。

で、その交換条件として、カンボジアに行っても良いそう。

なんだかね―――。



欲

2006,6,12



最近、欲が何も無くなっていることに気づく。
 それと同時に、向上心全く無くなっている自分に気づく。
 20代は、「こんな資格を取りたい。」とか「こんな勉強がしたい。」とか「こんなものが欲しい・買いたい」という欲の塊であった。
 タイに来てからも、「タイ語がもっと上手になりたい。」とか「生活の質が上がるように、こんなものが欲しい。」等の欲があった。
 パタヤで念願のコンドを手に入れてからは、物欲も向上心もなくなった気がする。
 守りに入る年齢なのかもしれないとふと思うと共に、不満らしい不満がない生活なのかもしれないと思う。
 衣食住が満たされている。
 衣は、元々良くはないし、食に関しては、タイは安くて、美味しく、日本食はじめ、外国料理も食べられる。住は、購入したコンドは、中古だし、100%満足とは言えないながらも、十分に満足している。
 欲といって、すぐに思い出す、性欲は、十分すぎるほど満たされているし、睡眠欲も、大量のアルコールが原因で、ぐっすり眠れている。
 不満と言えば、オヤジ化する自分の肉体ぐらいなものである。

ダムさんにふと、「欲が無くなった」って話したら、「じゃあ、車を買って、古い車を僕が使えばいい。」と言う馬鹿げたことを言い出す。
 そんな問題かなー？と思いつつ、「一応、不満が無いということで、幸せな生活なんだ。」って自分を納得させているのである。



豊作

2006,6,6



今年は、パイナップルが大豊作らしい。
 出来過ぎで、売値が安く、大損らしい。
 事実、パタヤで（スーパーは除く）の売値は、パイナップル1個5バーツである。
 又は、3個で20バーツというのが平均的な値段のようである。
 消費者に1個5バーツで届くとしたら、農家は、1個いくらかで売っているのか不思議に思う。ガソリン代がどんどん値上がりし、1リットル30バーツに届くかという時代に、1個5バーツでパイナップルが買えるというのはありがたい。
 さすがに、激安で販売されているだけあって、フルーツとして普通に食べる以外にも、「プリアオ・ワーン(日本語だと酢豚に該当する味付け)」で出される場合も多い。
 会社の社員までも「お土産」と言って持ってくるが、貰っても、食べきれないし、飽きたよーってというのが、実感。
 確かに、甘い・水分たっぷりではあるが・・・「飽きた。」と言わざる得ない。



平和

2006,6,5



恐ろしいくらいに仕事が落ち着いている。
僕だけではなく、会社全体が落ち着いており、日本人も5時半には会社を出ている。
会社が落ち着いている・仕事が少ないと「物足りなさ」を感じてしまう。
早く帰宅しても、結局は、ビールの本数が増えるのみで、身体に良いことは何一つしていない生活。
酔った勢いで家の周囲をマラソンしたが、やはりあちこちで犬に吠えられた。
酔った勢いで、犬にまけじと吠え返したが、ふと酔いがさめると、「馬鹿なことをしたもんだ」と思う。

TVをつけると、国王在位60周年を祝福するニュースが多く、国王のイメージカラーである黄色一色のタイランド。

平和な生活を象徴するように、今朝、車のフロントガラスにヤモリ(イモリ)がピッタリ張り付いており、フロントガラス越しに、呼吸をしているエグイ姿が映り、「生々しい・・・」と思いつつ、振り落とさないで会社まで運転した。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

台風一過

2006,7,31



ダム家の皆様がパタヤ入り。
 いつもそうだが、子供も含まれるので、大騒ぎである。
 今回は、13歳、5歳の子供も一緒である。
 子供に対する「躾」というのは、タイは非常に寛大である。
 まさに放任主義というか、見守り主義ということである。
 「食事に行く」と言っているのに、お菓子を食べて、結局はレストランに行っても、「お腹いっぱい。」
 欲しいと言っているから、与える・・・すごいなーって思う。

ダムさんの姉も一緒に来たのだが、明らかに感じたのは、双子の兄弟で、同じように育ったはずだが、人生にこんなにも差ができてしまったのだから・・・
 言葉では言い表せないが、非常にくだらないことだが、すべてに差がアル。
 「くだらないこと」というのは、「一人でバスに乗って家に帰ることができるか？」とか、「レストランで食事が注文できるか？」とか、そういうレベルの差から出てきているのである。

ちなみに、シーフードレストランでダムさんの姉が注文したのは、チャーハンと豚のバジル炒めである。
 ダムさんが、「チャーハンの大皿は何人分位食べられるか？」とか店員とやり取りをしているが（もちろん、タイ語）店員が去った後に、「何の話をしていたんだ。」って言っている。
 来るときもそうだが、帰りも、何度も電話がかかり、「何処で乗り継ぎをするか？」と何度も電話あり・・・看板を見るとか、バスの店員に聞くとかはしない。そもそも、すごい方言の為、タイ人でも聞き取れないかもしれないというタイ語のような気がする。

ダム家の訪問は、僕にとっては台風のようなものである。
 冷蔵庫のものは、日本食以外はすべて空となる。すごいなーって思うのは、最後に、バスで飲む為だ

と思うが、しっかりと紙パックのジュースをカバンに詰めている。黒ゴマ入りの豆乳・甘くないトマトジュースなんぞ、一口飲んで、ポイは、分かりきっているが、文句も言わない。ちなみに、我が家の冷蔵庫のビールは、ライト一色である。チャーン・ライトにシンハ・ライト。シンハ・ライトは、さすがに薄味で不味いと思ったらしく、2本ほどしか空いていない。チャーン・ビールは、何とか飲めたようで、冷蔵庫の中、完食。瓶に入った飴まで、帰宅時は空っぽ。まあ、すごい状態である。

ちなみに、双子の姉は、短大を卒業後、工場で働いた経験があるが、数ヶ月で退社。その後は、実家での生活しか知らない。大学の何年間を、バンコクで過ごし、僕と知り合ってから、少なくとも色々な経験をしているダムさんとの差は、一生縮まらないと思ったし、「こいつは、幸せな人生を歩んでいる。」と心底思う。ちなみに、私とダムさんの月収の合計額は、田舎の4.7年分の収入となる。しかし、別に、悲壮感は無いらしい、たまに、ダムさんを尋ねて、美味しいもの、変わった経験ができれば、それでよしとしている明るさが、タイ良い所なのかもしれない。田舎は、一家で一日100パーツあれば、生活できるという言葉が、ウドムソブーンなタイの象徴なのかもしれないとふと思った。幸せの形は、それぞれで、「都会で生活するということ。」つまり、物はあるが、すべて金を出して買わなければいけないということは、田舎者にとって、結構、苦痛を感じるものかなって思う。



タイ語堪能な外国人

2006,7,23



タイ語の非常に堪能なスイスランド人と会った。タイ語で会話するスイスランド人と日本人・・・周囲からすると滑稽な光景であるはず。いつも行くジウムティアン・コンプレックスでのおかしな光景。いやいや、はじめて出会ってしまった・・・こんなにも上手にタイ語を操るファラン・・・リタイヤ組とはいえ、どう見ても40歳代・・・人生をいかに、サバァイに生きるか？ということに関しては、ファランとタイ人は通じるものがあるのかな？ちなみに、タイ人バービアスタッフ・・・「タイ語は、インターナショナルな言語だ。」って喜んでいました。

日本人・・・何故に、そんなに仕事が好きなのか不明。今の日本・・・60歳を過ぎても働き続ける人が、多いと聞く。経済的に仕事をしないと生活ができないというわけでもないと思う。いくらあっても、十分であるとは言えないというのも理解するが、日本人の生き方は、チョット不思議に思う。仕事=生きる支えなのか？仕事=社会参加なのか？それなら、早期リタイヤで仕事を辞めた人間は、ルールを外れたのか？いや、十分に楽しんで生活しているはずである。30歳代中盤の今、早期リタイヤと叫ぶ年齢ではない。でも、先を見据えて、生活していきたいと思う。それには、今の贅沢三昧な暮らしをどうにかするしかないかな(笑)



大好きなサウナが・・・

2006,7,22



いつものボーイズタウンのフィットネスが閉鎖となった。

詳細を言えば、マッサージとサウナは、継続で、フィットネス機器だけが売り払われたのである。マッサージだけを目的に通っていた人、サウナだけを目的に通っていた人にとっては、全く関係ないことだが、サウナ・フィットネスと両方の目的があった人間にとっては、残念である。

ここのサウナ・・・暑いし、水風呂もあるし、最高だったんだけど・・・他のサウナは、水風呂が無い所が多く、非常に物足りない。

有名なTONY フィットネスは、いつのまにか50%も値上がりしていたし・・・何だか良いところはないかなって探している。

ダムさんは、エアコンの無いフィットネスは、「ロム（倒れる）」と言って、本当にやらない。

どなたか、パタヤフィットネス・サウナ情報を下さーーい。

美味しい日本食屋発見

2006,7,21



パタヤに繁盛の日本食屋がある。

満月という北パタヤにある日本食屋である。

ちなみに、日本食屋は、何箇所があるが、こんなに繁盛している日本食屋は初めてである。

場所的にも、決して良いとはいえない場所にあるが、満席である。

日本人のマスターが料理を作っているからか？はたまた、味が美味しいのかは分からない。

久しぶりに、こんにゃくを食べた・・・久しぶりに、グラタンを見た（食べていない）

ダムさん、日本食に来ると、普段食べないサラダを食べる。

僕は、久しぶりにこんにゃくを食べる。

確かに、特別に美味しいものではないとは思いますが、久々に食べたこんにゃく。

ちなみに、「男は、こんにゃくを食べると良い。砂おろしになる。」と聞いたことがあるが、何年もこんにゃくを食していないが。身体に砂がたまっているとは思わない。

ZEN以外にも、美味しい日本食があったことが、嬉しい発見である。

ダイエット・・・今

2006,7,12



ダイエットに関してであるが、毎日の運動は、3日坊主に終わった。

但し、下記の点は、ずっと続行している。

1.朝ごはん・・・抜くのはできないので、ウンセン（春雨）に変更。カロリーカット

2.昼ごはん・・・いっぱい食べる

3.夜ごはん・・・ビールをシンハ・ライトに変更。田舎でも販売していたから、シンハ・ライトに変更できた。これにより、カロリーカット・・・しかし、昨日も、缶を5本ほど飲み、カロリーが少なくても、量を飲めば、同じかなーなどと考えてしまう。

とりあえず、野菜や、ソムタムでお腹を膨らます努力はしている。

また、日曜日は、プール・フィットネス・サウナと、運動のフルコースを取り入れているが、ビールのカロリーが上回っているようだ。

とりあえず、現状維持ができるようがんばりたい。

シンガポール その3

2006,7,10



シンガポールの観光に関して・・・マーライオン・・・うーん、これが、シンガポールの超有名スポットかーって感じです。

買い物で有名な、オーチャードロード・・・結構、値段が高いじゃないですか。

欲しいと思ったのは、カバンかな・・・確かに、品質は良いと思う。

しかし、タイでも、お金を出せば、買う場所を選べば、品質の良いものは、手に入ると思っているのに、結局は、これといった買い物はせず・・・

タイ人は、シンガポールに行ってきた証拠の品物・・・キーホルダーとか、Tシャツを買いあさっていた。

ナイトサファリ・・・これ、結構感動。夜の動物園って初めてである。

たしか、チェンマイにもあると思うが、今度は、チェンマイのナイトサファリにも行きたい。ちなみに、日本の修学旅行の団体と出くわした。

全体的な感想・・・物価が高い。可愛い子が居ない。電車があるので、初めてでも分り易い。狭い。食事は、さほど美味しくもない。ビールが高すぎる。

よって、2度目の訪問はないであろうと予想される。

次は、カンボジアで、黒い可愛い子と出会いたい。

-



シンガポール その2

2006,7,9



物価が高いと思ったのは、タバコと酒。

タバコ・・・買ってないけど、200パーツ以上だった気がする。

酒・・・タイのチャンビール(缶)が4倍近かった。

タイの格安ビールが80パーツで、アサヒビールが100パーツだったから、20パーツの差なら・・・と思ひ。アサヒを選択。

3日間の滞在で判明したのは、シンガポール産というのは、どうも少ないようである。

ほとんどは、外国からの輸入物・・・つまり、輸送費がかかっている。

ひょっとしたら、税金もいっぱいかかっているのだろう。

だから、食べ物・飲み物は高い。

食べ物と言えば、僕は、中華にそれなりに満足。

タイの麺と中国の麺は、やはり違い、あっさりしていて美味しい。

タイ人は、味が無い・味が薄いと言う。

タイ人が慣れていて最も食べやすい中華料理は、チキンライス(タイでも、カオ・マン・ガイ)として有名料理である。

タイでは、25パーツほどで食べられる料理が、シンガポールでは最低3ドル(75パーツ)という高値にタイ人は驚いていた。

外国に出ると、「何でも食べてみたい症候群」になり、とりあえず、いろんなものを食べた。

でも、感動的に美味しいと言う食べ物には遭遇することなく、感動する食べ物を求めて、再び注文を繰り返すという悪循環である。

正直言って、確かに、タイより薄味ではある。

しかし、油系(揚げ物系)がやたら多く、暑い国は、相変わらず油が好きだなーってというのが率直な感想。



シンガポール その1

2006,7,8



シンガポール・・・それは、非常に物価の高い国であった。
自分の部下を連れて行ったので、人数が重くのしかかったとはいえ、貧乏旅行といっても言い過ぎではない旅。

まずは、飛行機・・・格安航空AIR ASIAに初めて搭乗。

なんと、座席指定ではなく、全席自由席。サービスは一切無く、機内販売。

機内販売といっても、弁当などという旅の気分を盛り上げる品物は無く、なんとカップラーメン。機内には、インスタントラーメンの匂いが充満。

6席×25列ぐらいの小さな機内。

それでも、ラオス航空よりも大きな機体だった。

そもそも、飛行機に不要なサービスは不要であると思っはいるが、ここまでくれば割り切って、「移動の手段」と言い切れる。

さて、チャンギ国際空港は、期待通りの空港だった。

何でも、世界的にもトップランクの空港だそう。

国の玄関として、相応しいと思っし、イミグレーションで、飴を配ってくれた。

たった1個の飴・・・だけど、ようこそ、シンガポールと言われているようで感激である。

シンガポールの場合、空港に、電車が直結しているので、非常にありがたい。

一応、日本人である僕は、地下鉄路線図を見て、「こりゃ、分り易い国だ。」って思った。

問題は、ホテルである。

タイバーツで1000バーツ以上の値段と聞いていたので、そこそこのホテルを予想していた。

しかし、びっくり・・・なんだこりゃってホテル。

エレベーターは、手動式。

トイレとシャワーは共同とくれば、「ドミトリーか？」と思う。

昔、ナコンラーチャーシーマーで宿泊したボロホテルに続く、歴代2位のホテルのような気がする。

近代都市、シンガポールでこのホテルとは、驚きでした。



早期リタイヤする人生

2006,7,6



シンガポール行きを明日に控えているが、海外に遊びに行くという心の準備も全く無い。

今回は、部下任せの旅であり、「お好きにどうぞ状態である。」

飛行機代・ホテル代と支払い済みなので、気楽なものである。

英語圏に行くのが、やや怖い・・・かも

さて、友人の1人が早期リタイヤを果たした。

早期リタイヤを果たしたというのは、ちょっと言い過ぎで、「会社員としての生活にピリオドを打った。」と言う方が正解である。

サラリーマン生活20年というのが、大きな区切りになっらしい。

僕の周りで、サラリーマン生活20年を目処に、会社を辞めた人・・・2人目である。

「もう十分だと思った。」というのが、印象的な言葉である。

また、ゲイとして、組織に属することの息苦しさを感じたのかもしれない。

ゲイとして・・・という言い方をすれば、家族に対する扶養義務がないので、残しやすい環境であることは間違いないし、本来、残るべきである。

それに、老後を考えても、1人ということと思えば、ゴール額が、少なくて済むかもしれない。

日本人には、どうしても「らしさ」「平均・普通」・・・が求められる。

「結婚すべき年齢」「適齢期」などという言葉がまさに息苦しさを感ずる言葉だろう。早期リタイヤした友人は、「自分の時間を好きに使いたい」という気持ちも、「組織に属する息苦しさ」を感じたのか・・・

もちろん、自由な時間と引き換えに、「リスク」は背負ったわけである。本人にとっては、大きな決断であったと思うが、決断できるだけの経済的余裕とサラリーマンほどの安定収入はないものの、細々としたもので良いから収入が確約されているから決断できたはずである。

ここで、焦点を当てたいのは、この友人は、タイの現地採用で働いてきた人である。一般的に、現地採用と言え、給料が安く、日本人としての生活を支えるのがやっとであり、貯金もままならないというイメージがあると思う。

「将来どうすんの？」って言葉が真っ先に聞こえてきそうな身分の人間である。友人の場合も、20年間、ずっと現地採用であったわけではなく、リタイヤを決めることができた経済的理由の中には、日本で働いたときの金額も含まれているとは思う。しかし、タイで現地採用として働きつつ、ある年齢で安定した給料を捨てられるというのは、すごいことだと思う。

タイに住みたいと思っているほとんどの日本人は、「日本で働いてお金をためてから、早期リタイヤしてタイに来るか？」「先にタイに来て、自由を味わうが、将来苦勞するか？」の選択肢が問われていると思う。

しかし、タイに来て、貯金をしつつ、ほどほど満足のいく生活をし、残すものも残して、早期リタイヤするという究極の選択肢も存在するのだということがはっきりと証明されたのである。まさに、僕にとっても「将来、こうしたい」という見本となる生き方かもしれない。

「まだ、そんな年齢じゃないよ。」という声も十分に聞こえてきそうだが、例えば、10年後を目処に、目標を立てるとしたら、まんざらでもない年齢である。

将来の夢・・・「早期リタイヤすること」・・・そんな夢・そんな人生設計を考えるような年齢になってしまったんだね。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

8月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

やり尽くした

2006,8,28



週末、またまた贅沢三昧をしてしまった。

まずは、顔のエステ・・・ダムさんが、どうしてもやりたいというので、1時間500パーツ、2人で1000パーツ也。効果があれば、値段も高くもないが、効果があったかどうかは謎。

はっきり言って、終わった直後は、「効果アル」と思った。

しかし、ベビーオイルの原理と一緒に、直後は、油(薬)を塗りたくっているから、すべすべに感じるだけのような気がする。

次は、性処理代・・・ダムさんが、日帰りで買い物に出かけた。

早速、いつかは食べようと思っており、電話番号を控えてあったスニーっ子に電話。

「15分後に行くから、マンションの前で待っていて。」

しかし、スニーっ子・・・見かけは可愛いだが、一肌脱ぐと汚い。

つまり、表面は、可愛いのだが、脱いじゃうと汚い。

僕は、医者じゃないが、「絶対に痒いんだろうな。」という痕跡が股間にあるので、ちょっと引いてしまう。

まあ、こんなもんかと思い、ビーチに行くと、可愛いマッサージ子がいる。

以前、チエンマイ在住のNさんも足マッサージを受けたことがあり、前々から可愛い子だと目はつけていた。

一人だった為か、トントン拍子で話がまとまり、部屋でマッサージを受けることに・・・

当然、何が起こるかは、当の本人も了解済み。

ヤバイ年齢だなーと思いつつ、「パタヤだから・・・」で終了。

午前11時と午後3時・・・この精力があれば、まだまだ若いと思ってしまう。

多分、人が変われば、3人まではがんばれそうな気がする。

土日休みの場合、本当に充実した毎を送れる気がする。
3連休や4連休も欲しいと思うが、出費を考えると、現在の休日日数が丁度良いと思った。

ぶらりと入った、イサーン料理屋で、牛タン焼きがメニューに載っていたので、注文した。
多分、タイで日本食屋以外の場所で牛タンを食べたのは初めてかもしれない。

非常に、不味かった。

色んなことが起きた週末だった。



悩み

2006,8,17



お蔭様で・・・と言うべきか、当たり前だが・・・と言うべきか・・・
工場がいよいよ本格稼働の状況になってきた。
それに伴って、タイ人従業員の数も急上昇している。
ロッカーが足りない、食堂の机が足りない等の話が突然持ち上がってくるが、かなり慌しい。
職員の数が増えてくると、意外な問題が発生する。
つまり、平日住んでいる田舎に、従業員が何人も住むようになる。
当然、ぱったり出くわしてしまう可能性も増えてしまうのである。
僕だけが会うのであれば問題はないが、問題は、ダムさんと一緒に所を目撃されることである。
もし、2人である場所を目撃されたとしたら、たちまち噂が広まること間違いなし。

最近、「何処で飯を食うか？」その選択の最大の重要な点は、「職員が周囲に住んでいない場所であるか？」ということである。
会社が大きくなって、非常に良いことなんだけど・・・個人的には、困ってしまう。
変な悩みです。



知らぬが仏

2006,8,7



「知らぬが仏」という言葉がある。
ドリアンと酒を一緒に飲んではいけないというのは、かなりの人が知っている話である。
しかし、ドリアン以外にも、アルコールと相性の悪い果物が、存在するのである。
ちなみに、その果物というのは、ラムヤイである。
日本名は竜眼とか言ったかな？
地味な果物で、南国フルーツとして圧倒的に有名なわけでもない。
今年は、キロ20パーツと安いので、最近、よく我が家にお目見えする。
リンチー（ライチ）　ンゴ（ランブータン）　ラムヤイと季節と共に変わっている。
で、毎日のように、フルーツをつまみとし、ラムヤイを食べていたが、実は、とんでもない間違いであることが、今日判明した。
ポンラマイ・ローン（身体が熱くなる果物）なのである。
つまり、アルコールとは、一緒に食べてはいけないフルーツなのである。
知らぬが仏とは、このことで、ビールと共に、ラムヤイが続いていたのだが・・・
今日からは、やめたほうが良いのか、あれだけ一緒に飲み食いしても大丈夫なのだから、問題ないということにしようかとふと考えてしまう。





誕生日

2006,8,4



今日は、ダムさんの誕生日である。

25歳になったって・・・若い子が好きの僕としては、不満もあるものの、こればかりは、お互い様なので仕方が無い。

相棒が年をとったということは、自分も年を取ったということである。

さすがに、スニーっ子との差をあからさまに感じるが、付き合うということを考えたときは、この年齢差は、普通なのかなーと思ってしまう。

スニーっ子は、「食べて、ご馳走様」ということで十分であろう。

さすがに、スニーっ子は、子供と言ってもおかしくない年齢である。

20歳で父親になったとしてら、子供は、スニーっ子の年齢であると言っても普通だと思うと、恐ろしいものである。

ちなみに、「誕生日プレゼントに何が欲しいのか？」と聞いたら、「金（ゴールド）」と言われたが、すかさず「金が無い。」と断った。すぐに「お金はいっぱいあるよー」と日本語で言われてしまった。

日本人からすると「スズメの涙」と言わんばかりの金であっても、ダムさんからすると「信じられない大金」ということであろう。

ダムさんに内緒のパーツ口座を作らなければ・・・と思った。



不思議な家族関係

2006,8,1



田舎に不思議な食堂がある。

どう見ても、ゲイのカップルが営業しているお世辞にも清潔・綺麗とは言えないイサーン食堂である。

そこに、何故か若い男が2人生活している。

2人とも、工場に勤務しているが、どうみても、田舎から出てきた人間で、ワーカーとして働いている人間であることは、予想できる。

不思議な関係としか思えない。

息子のように普通に生活しているのである。

ゲイ夫婦に子供とは、考えられないし、20歳前後の真っ黒で、いかにも僕が好きそうなタイプの人間と住んでいることにちょっと不思議な感じがする。

想像するだけで、楽しそうな人間関係である。

不衛生と言っても過言ではないこのレストランいや食堂に、何故か毎日のように行ってしまう。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

9月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

異国人

2006,9,30



タイという国に住んでいると、つくづく思う。
くつつくのは非常に簡単であるが、別れるのは非常に難しいと・・・
恋愛感情の場合は、もちろんであるが、会社でもそうである。

タイの場合、120日間（正確には119日間）は、試用期間とされ、1ヶ月前に伝えることで、いつでも雇用契約を解除することが可能である。

労働保護法では、実際に試用期間を明記した表現はなく、120日を超えた場合、補償金を支払わなければいけないという規定があることから、120日以内であれば、補償金を支払うことなく、雇用契約を解除できると解される。

120日以内で区切りをつけるというのが、最もベストの方法であり、双方が恨みっこなしという感じである。

ところが、120日を超えた従業員の首切りは、大変である。
ワーカーレベルなら、お金を法律どおりに支払えば、問題とならないが、かなり上の身分の人間を切るときは大変である。

当然、お金は、受取る権利も主張するのと同時に、契約解除の書類に関しては、「サインしない。」と訳が分からないことを言う。

私は、「会社から契約を解除されるような仕事ぶりではない。よって、契約解除の書類にはサインをしない。しかし、お金を受取る権利がある。」という訳の分からない理屈である。

この国で、働く日本人の多くは、労務問題で頭を悩ましているようである。

理屈を言っても、分からない人間が、かなり多く存在し、そして、もっと訳が分からないのは、お金に関する権利は、しっかり主張する。

僕から言えば、欲しい物は、欲しいが、要らない物は要らない。

欲しい物があるのなら、その為に、我慢しなければいけない場合がある。
そんなことはお構いなしだから仕方ない。

まあ、クーデターの事件を考えれば、すべては納得である。
しかし、国が違うと言うのは、顔や皮膚の色などの表面的な違いだけではなく、もっと、もっと深い所で、全く違っていてことを実感する日々である。



村の新生活

2006,9,29



村一番の高級アパートに引っ越した。
引越した理由は、従業員が隣のアパートに引っ越してきたからである。
逃亡生活をしている訳ではないが、従業員に僕とダムさんが一緒に住んでいるのがばれると、とんでもないスクープになってしまうので、それを避ける為である。
なお、村一番の高級アパートと言っても、キーカードとエアコンが付いているくらいで、この田舎の村で、3600パーツも家賃を取るなんて信じられないと思ってしまう。
「全員が、マネージャー以上の役職者・・・」とアパートの管理人が自慢げに話すが、僕に取っては、あまり関係ないし、あまりの静けさに、逆に居心地の悪さを感じる。
いつもは、ドア開けっ放しで、風通し良く・・・って気軽に生活していたが、このアパートでは、誰一人として、そんな行為は行なっておらず、逆に不気味な静かさである。
一人で、在住している人が多いようで、家賃節約＝共同生活という階級の人ではなく、限りなくプライベート重視の人たちの集まりのようだ。
また、週末は、ほとんどがバンコクに帰っていくというから、バンコクのエリートの田舎の仮アパートと言った感じなのかもしれない。
まあ、ここに住んでいれば、少なくとも、「同じアパートに、従業員が引っ越してきた。」ということにはなるまい。
僕に取っても、荷物は、パタヤに置いてあるので、仮の住まい。
だだっ広い部屋で、一人ビールを飲む平日の生活・・・なんだかね。



痩せる食材

2006,9,23



メットメンダーラックという食品を食べ始めた。
最近、お腹のお肉が・・・という相談をしたところ、友人が勧めてくれた。
理屈は、非常に正しく、ノンカロリーのもので、お腹を満たせば、痩せられる。
日本の食材で言えば、こんにゃくが真っ先に思いつくし、次に思いつくのは、しめじかな。
メット・メンラックという食品・・・一見、黒ゴマにしか見えない。
しかし、水に入れると、びっくりするくらい膨れ上がる。
これを食事前に食べれば、お腹がいっぱいで、あまり食べられないとの事。

実は、ダムさんも知っている食品である。
子供の頃、よく食べた・・・と。
食べるものがない時に、砂糖を入れて、お菓子と見せかけ食べさせられた・・・と。
成長期の子供は、いくら食べてもきりが無い・・・「これで、腹を膨らませろ。」って感じの食品らしい。

但し、水に入れたただけだと、何の味も無く、味の無い食べ物なんぞ、食べられたものではない。味噌汁に入れると、非常に美味しかった。

確かに、お腹の中で、さらに膨張するのもかもしれないが、お腹いっぱいとなる。

課題は、この味の無い食べ物を、どう美味しく食べるか？である。
一番簡単なのは、デザートとして食べること。
甘く味付けし、デザートの的に食せば、非常に美味しいと思う。
しかし、甘いものが嫌いな僕としては、砂糖を入れるという選択肢はない。
無理は言わないが、3キロ-5キロほど痩せられたら嬉しい。
もっと欲を言えば、お腹の肉だけ無くなって欲しいと願っている。



1日の出来事

2006,9,21



昨日の出来事は、1日で収まったようだ。
一説によると茶番劇であるという噂もある。
ひとつだけいえる事は、世界各国に対して、「民主主義が定着していない国」ということを知らしめた事であろう。
ワクチンを排除したい。
民主主義であれば、選挙で倒せば良い事である。
デモ・集会で、圧力をかけた。
しかし、選挙で再び、ワクチンが勝つであろうという予測が強まった。
実力行使で、軍が政権を乗っ取った・・・お隣の国と、どう違うのかと言えば、ドンパチがないことと、軍政権が一時的であることぐらいで、基本的な民主主義の考えとは程遠い。
選挙でワクチンが何故勝つのか。選挙でくつがえせば良いという議論をすると、必ず、田舎者・学のないもの・貧乏人は、貧乏人に金をばら撒くワクチン政権を支持し、選挙に勝つから・・・という議論になる。

学歴の差、貧富の差が問題なのかもしれないが、国の抱える問題と共に、こんな方法でしか政権を変えられないということを世間に知らせた事になる。
新国際空港開港を直前に控え、国のレベルを実感することとなった。

昨日の出来事のお陰で、パティワットというタイ語・ロット・タン（戦車）という単語を覚えた。
そして、異国に住んでいることを実感する1日となった。



一夜明けたら

2006,9,20



どうなっているのか分からない。
朝起きたら、どのチャンネルも同じ番組。
クーデターが起きているらしいことは掌握し、バンコクでは、外出禁止令がでているようだ。
会社に来て、役所、郵便局、銀行すべてが閉鎖されていることを聞く。
ネットと携帯は通常通り。

恐ろしい情報・・・憲法が一時停止しているという。
えっ、無法地帯ってこと？法治国家ではないということか。

取りあえずの今朝、分かっていることは、空港も閉鎖され、役所も前面閉鎖で、僕はタイに閉じ込められているということ。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

10月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

駐在員生活

2006,10,26



ダムさんとの喧嘩も一段落

というか、あえてお互いに触れないことで、自然に元の状態へ戻っただけである。

4年も付き合えば、お互いに理解できない部分も認識し、あえて触れないことで問題発生を防ぐ・・・まさしくタイスタイルである。

ちなみに、本日、正式に駐在員待遇になることが決った。

駐在員と言っても、席がタイから日本本社へ移るだけである。

駐在員と聞けば、車付き、高級アパート付きが真っ先に頭に浮かぶが、僕の場合、自分の車もあるし、住居もある。

こんなことなら、コンド買うんじゃないかと思ったが、別にどうでも良い。

何がともあれ、これで日本円の収入を得ることができることと、厚生年金に再加入できることが大きな魅力である。

厚生年金に関しては、日本で働いていた時は、随分と引かれるな--ぐらいの感覚しかなかったが、10年は支払ったのだから、やはりもう少し払って、じいさんになってもスニーでお買い物ができるくらいの収入は欲しいものである。

多分、収入の総額はあまり変わらないと思うが、やはり将来の保証ができたことが嬉しい限りである。



徐々に、ダムさんと喧嘩をしている。
喧嘩の原因は、つまるところ、ダム家が原因なのである。

先週の水曜日から、今週の木曜日まで、僕のコンドミニアムにご滞在なのである。
そりゃ、1週間と言われたら、僕も、一言、二言、言いたいわけでありませう。
一言いったら、喧嘩になるので、あえて、無視を決め込むのであります。
「勝手に使ってください。私は、この部屋には帰りません。」ただ、それだけ。

そりゃ、2泊3日ぐらいなら、我慢もするが、毎日、飯、酒、タバコ、子供の遊びまで面倒見るのはごめんである。

朝から、ベランダでビール飲まれたら、迷惑である。
タイの場合(ダム家の場合)、遊びに来ると言うのは、明らかに、「全部お願いします」ということであり、もっと言えば、来る時のバス代しか持ってこない。

まあ、タイ人にとって、家族は、かけがえのない大事なものであることは理解するが、これだけは、申し訳ないが、妥協しない方が良さそうである。

1出せば、次は2を要求し、次は3というのが、タイ方式。

実際、2泊3日の次は、1週間。前は、姉と子供だけが、今回は、ばあさんまで連れてくる始末。
ここで、にっこり笑った場合は、1ヶ月の滞在なんて、当たり前で、ほっとけば、住み着くのは確実。

僕が、納得できないのは、

- 1.この家は、僕が休日をリフレッシュする為の部屋であり、ばあさんや子供を連れてくる場所ではない。
- 2.金がないなら、遊びにこなきゃいい話である。田舎にいれば、お金もかからないし・・・人の金を当てるに遊びにくるとは、何事かと思う。
- 3.これまで、困った時に、ダムさんは随分と実家を助けてきた。僕にとってみれば、「ただのたかり」であるが、タイでは当たり前である。そのダムさんの仕事を考えて欲しい。子供は、雨休みで、学校が休暇でも、我々は、仕事をしているわけである。仕事している人を邪魔しに来ないで欲しい。事実、せつかくの貴重な3連休と有給を2日も使用し、先週から今週にかけて、ほとんど仕事ができない。

まあ、上記のことを言っても、仕方がない。

だから、無視を決め込んでいるが、僕の気持ちがあっさり理解できるほどの人ではない。

帰る時は、家の中の、一切の食べ物と、日用品の在庫が、一切消えていると思うが、それも慣れっこになってしまった。

今まで、ダム家のことで、何度も喧嘩してきたが、これで、吹っ切れた気がする。

「申し訳ないが、家族の事は、私は関係ない。」

「世話もしないし、世話もされない。」というスタンスを作るしかない。

それに、ダムさんは、稼いでいるのだから、自分で世話をすれば良い訳です。

僕を巻き込む必要は、全く無いと思うのですが・・・

冷たいと言われようが、何と言われようが、自分を守る一つの方法なのかもしれないと思う。タイの場合、良い言葉を使えば、助け合い。

実態は、「自立していない」という言葉を使いたくなる。



